

第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

第1項 地域産業を振興し、豊かな経済活動ができるようにします

めざしたい将来像:

今ある資源を活かした、新しい松戸らしい地域産業を生み出すため、産・学・官・民の連携、世代間を超えた連携を継続して行うことによって、若者にも魅力ある松戸のまちを実現します。

指標

快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合

(1) 指標の説明

都市機能の強化は、快適性や利便性の向上となり、産業の振興と雇用の確保、観光資源の活用や商圈の拡大等による交流人口の増加は賑わいをもたらすものです。そこで、快適・便利・賑わいがあると感じている人の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、「快適・便利・賑わいの4項目の満足度」を組み合わせて聞いています。「地域・態度(評価)」

※「まちの賑わいや買い物の便」「通勤、通学などの交通の便」「道路、公園、下水道などの都市施設」「特色ある祭りや地域ぐるみのイベント」の4項目

Q18 あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてどの程度満足しているかについて、次のア～チの各項目ごとに、あなたの考えに最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。

	項目	十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない
イ	まちの賑わいや買い物の便	1	2	3	4	5	6
ウ	通勤・通学などの交通の便	1	2	3	4	5	6
キ	道路、公園、下水道などの都市施設	1	2	3	4	5	6
セ	特色ある祭りや地域ぐるみのイベント	1	2	3	4	5	6

<総合満足度の算出について>

快適・便利・賑わいの4項目の総合満足度については、次のような方法にもとづき算出しています。

- ・Q20イ、ウ、キ、セの4つの質問のそれぞれについて、選択肢に応じた評価点を付与する。
- ・該当する質問の評価点を合計し、合計点に基づいて総合満足度を判定する。

評価点

- | | |
|-----------|-----|
| ①「十分満足」 | +2点 |
| ②「まあまあ満足」 | +1点 |
| ③「普通」 | ±0点 |
| ④「やや不満」 | -1点 |
| ⑤「きわめて不満」 | -2点 |

判定

- | | |
|---------|--------------|
| ①+5点以上 | (十分満足している) |
| ②+1～+4点 | (まあまあ満足している) |
| ③±0点 | (普通である) |
| ④-1～-4点 | (やや不満である) |
| ⑤-5点以下 | (きわめて不満である) |

該当する質問の評価点を合計する

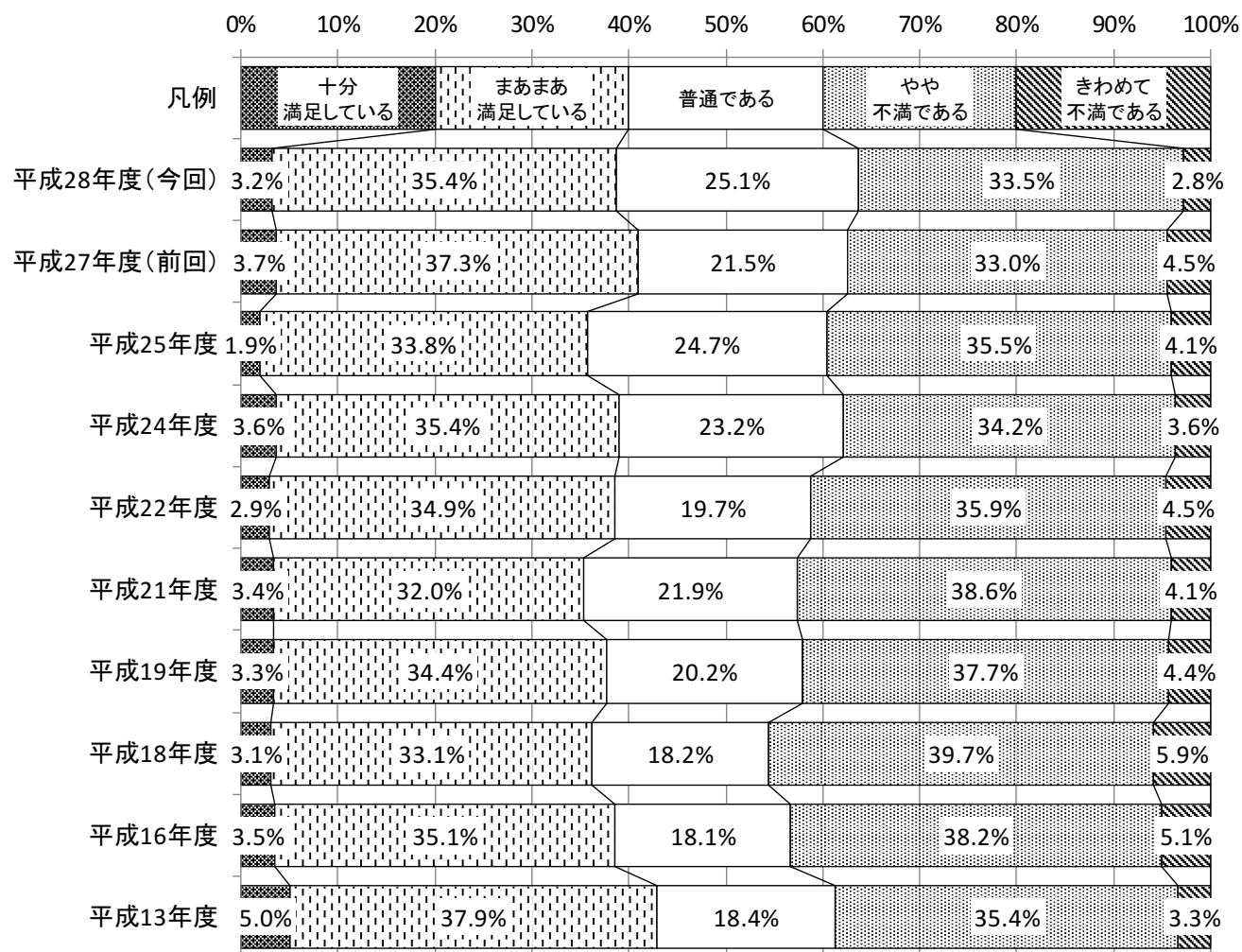
(3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度
十分満足している	5.0%	3.5%	3.1%	3.3%	3.4%	2.9%	3.6%	1.9%	3.7%	3.2%
まあまあ満足している	37.9%	35.1%	33.1%	34.4%	32.0%	34.9%	35.4%	33.8%	37.3%	35.4%
計	42.9%	38.6%	36.2%	37.7%	35.4%	37.8%	39.0%	35.7%	41.0%	38.6%

(4) 指標の分析

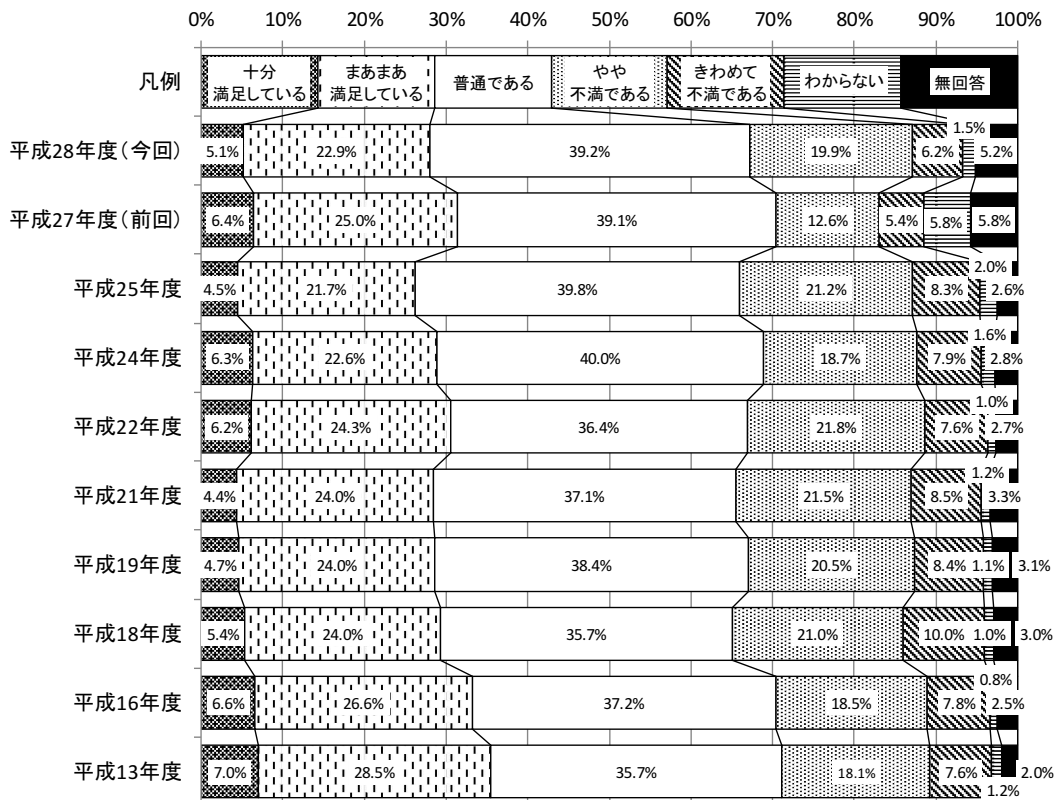
☆快適・便利・賑わいに対する満足度は増加しています。

快適・便利・賑わいの4項目の総合満足度についてみると、“十分満足している”(3.2%)、“まあまあ満足している”(35.4%)を合わせた満足という人の割合は38.6%であり、前回調査より2.4ポイント減少しています。一方、“やや不満である”(33.5%)、“きわめて不満である”(2.8%)を合わせた不満層は36.3%であり、前回調査より1.2ポイント減少しています。

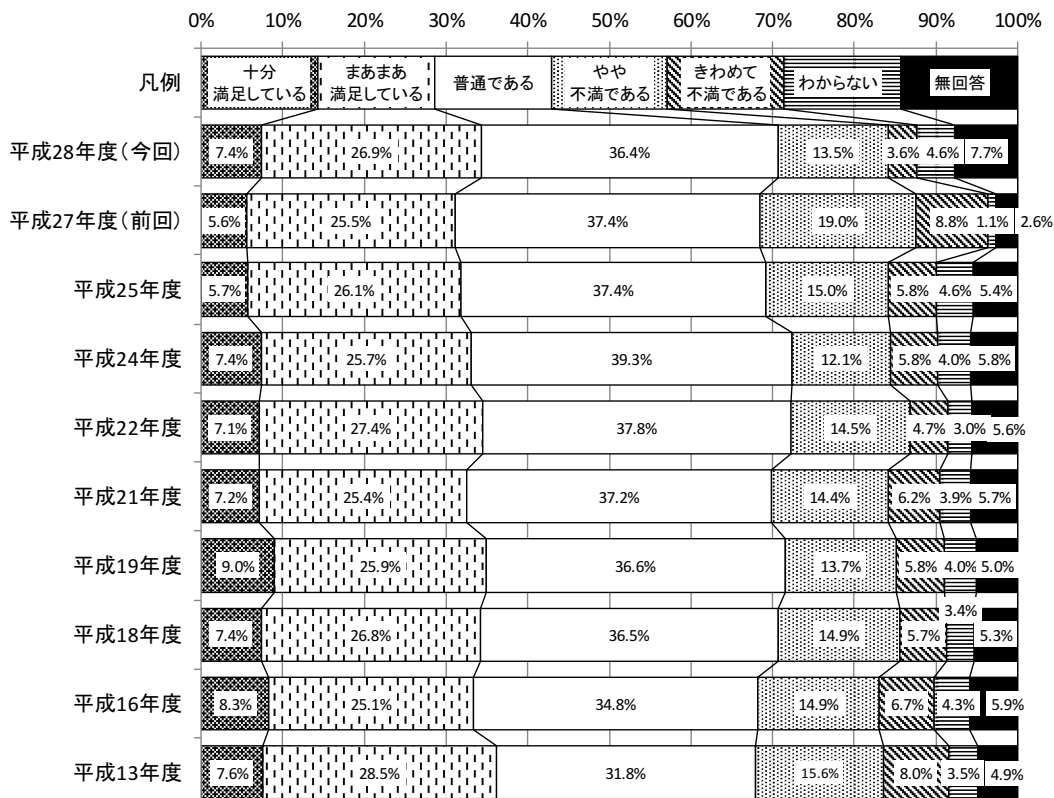


【通勤、通学などの交通の便】は 34.3%と前回調査より 3.2 ポイント増加していますが、【まちの賑わいや買い物の便】、【道路、公園、下水道などの都市施設】、【特色ある祭りや地域ぐるみのイベント】は、いずれも前回調査より減少しています。

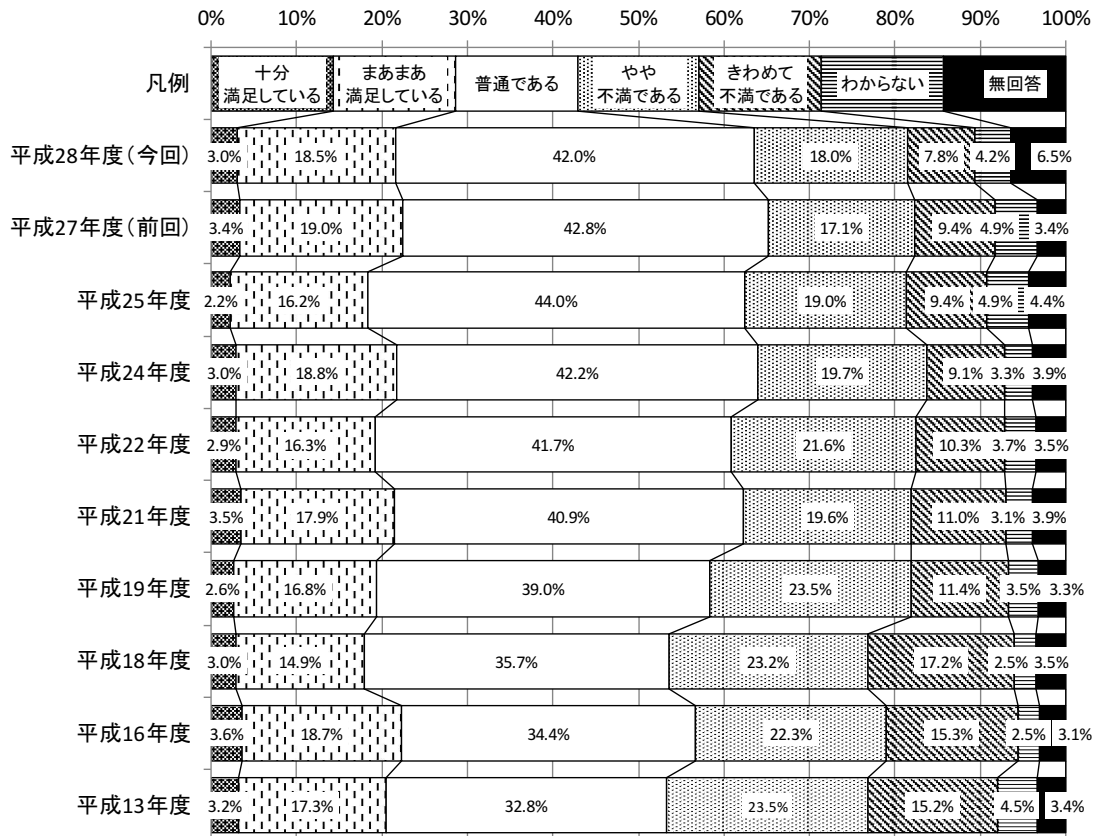
【まちの賑わいや買い物の便】



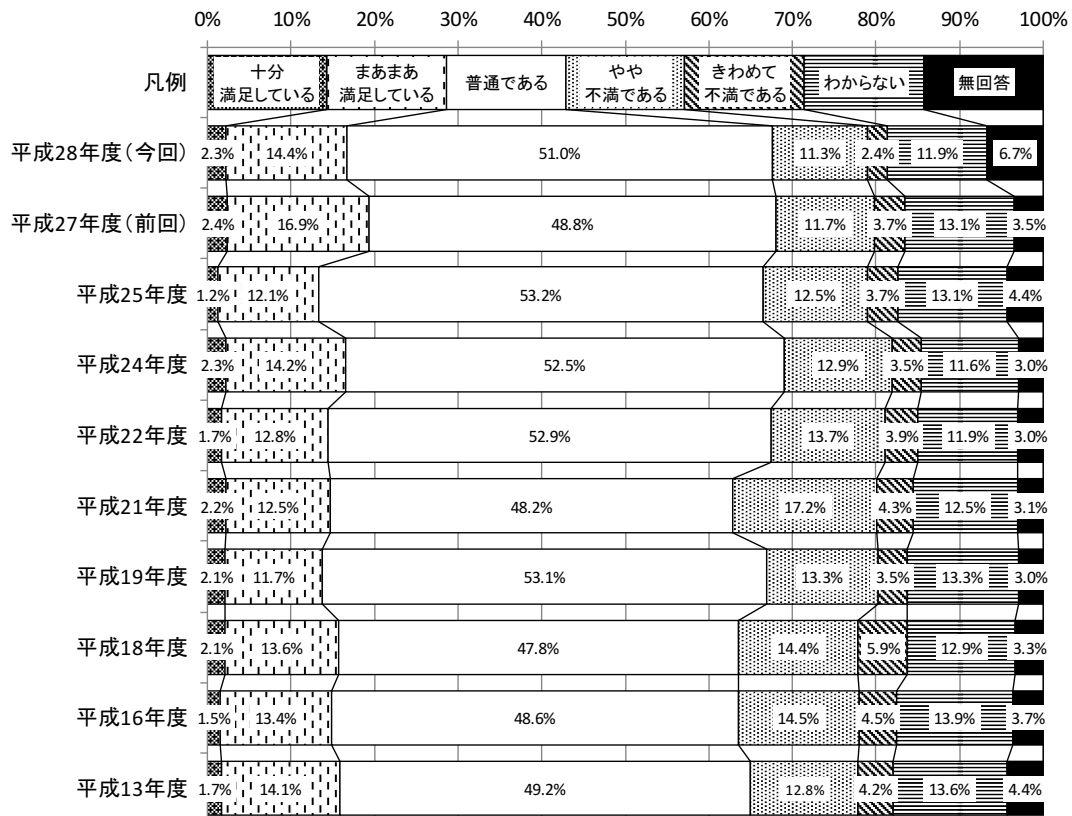
【通勤、通学などの交通の便】



【道路、公園、下水道などの都市施設】



【特色ある祭りや地域ぐるみのイベント】



指標

松戸の良さを伝えるために取組んでいる市民の割合

(1) 指標の説明

魅力あるまちづくりに向けて、松戸の良さに気づき、その良さを他の人に伝えている市民が増えることが必要と考えられます。そこで、松戸の良さを伝えるために取組んでいる市民の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・行動」

Q9 あなたは日頃、松戸の良さを他の人に伝える活動をしていますか。次の中から、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------|------------|
| 1 日常的にしている | 3 あまりしていない |
| 2 ときどきしている | 4 全くしていない |

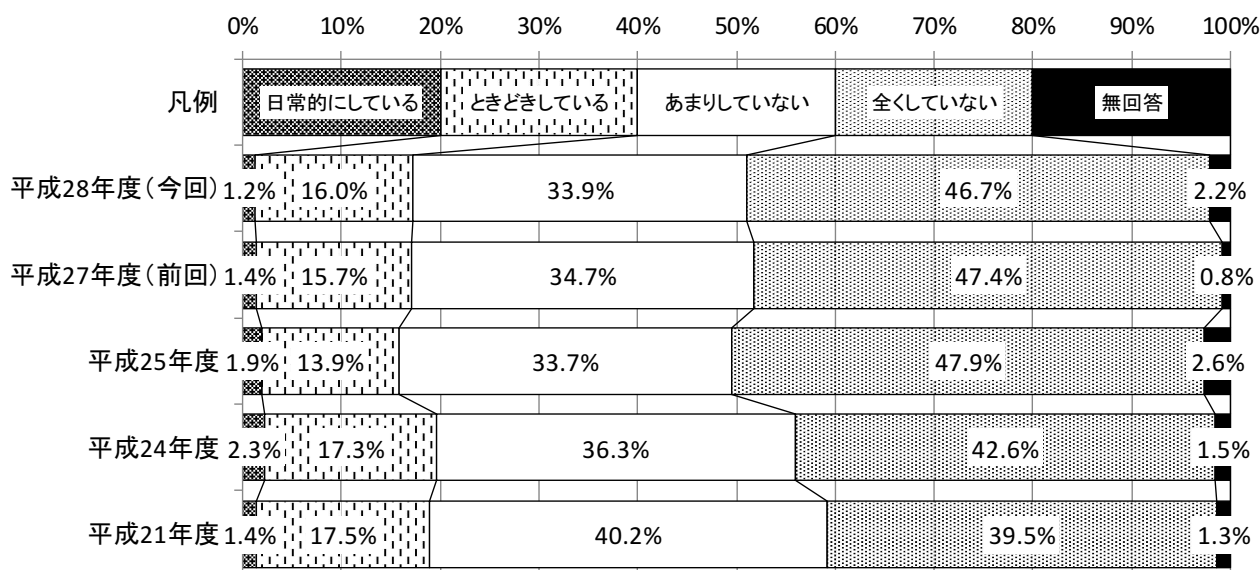
(3) 指標の現状

	平成 21年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度
日常的にしている	1.4%	2.3%	1.9%	1.4%	1.2%
ときどきしている	17.5%	17.3%	13.9%	15.7%	16.0%
計	19.0%	19.6%	15.8%	17.1%	17.2%

(4) 指標の分析

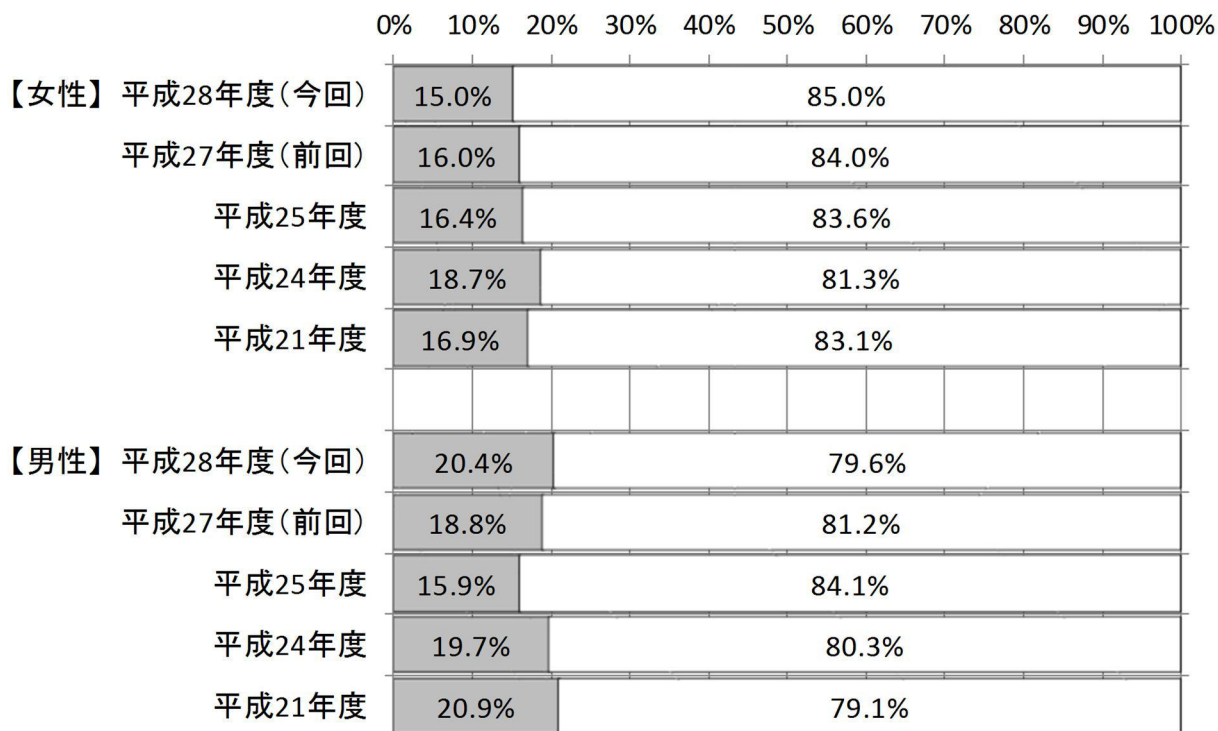
☆松戸の良さを他の人に伝えている人は2割未満となっています。

日頃、松戸の良さを他の人に伝える活動を、“日常的にしている”人は1.2%であり、前回調査より0.2ポイント減少しています。“日常的にしている”と“ときどきしている”の合計は17.2%であり、前回調査より0.1ポイント増加しています。



性別で見ると、松戸の良さを他の人に伝える活動をしている人は“男性”20.4%、“女性”15.0%であり、前回調査と同様に、“女性”よりも“男性”の割合が高くなっています。

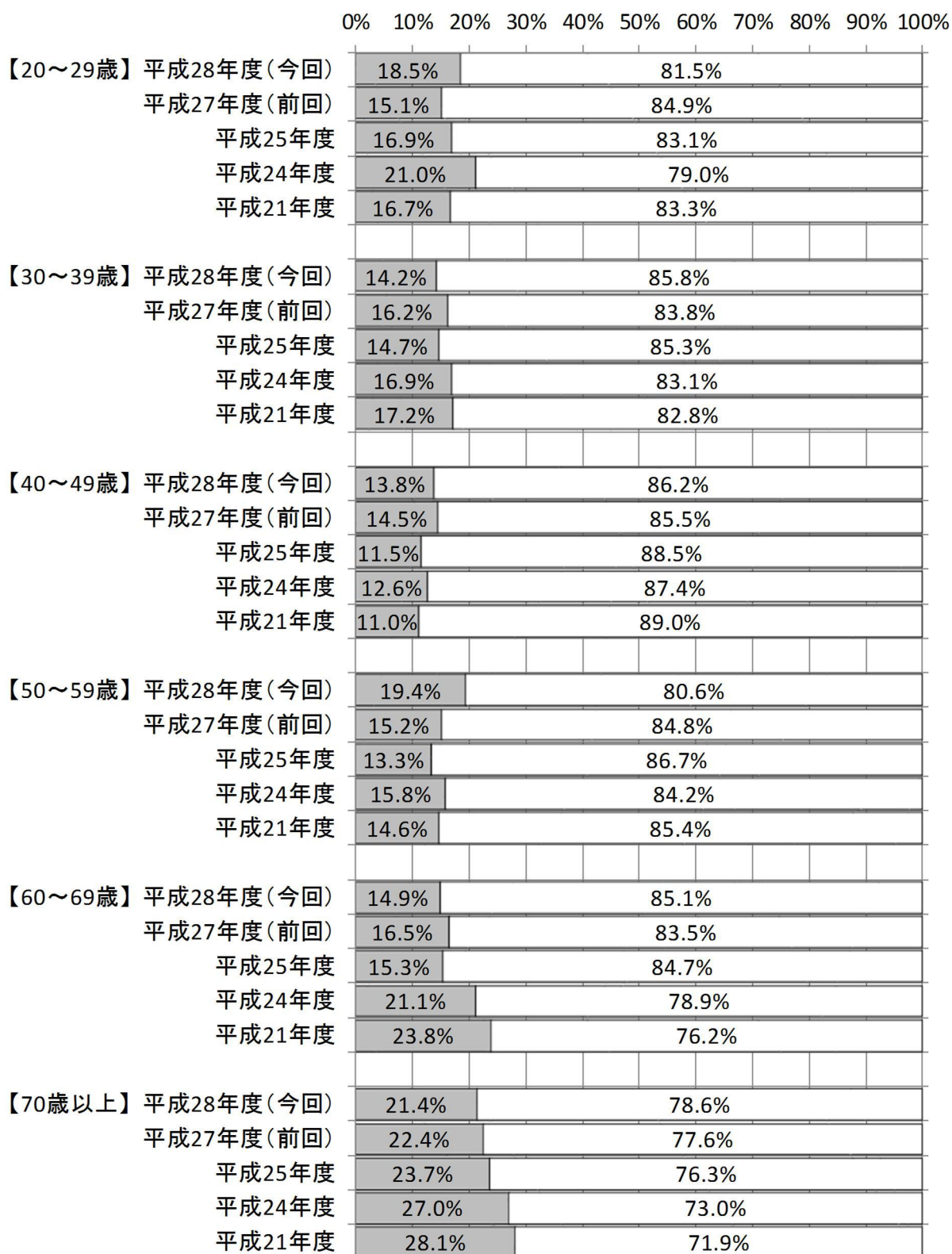
【松戸の良さの伝達×性別】



- “日常的にしている”と“ときどきしている”の合計比率
- “あまりしていない”と“全くしていない”の合計比率

年齢別にみると、“70歳以上”では、松戸の良さを他の人に伝える活動をしている人が21.4%を占めていますが、前回調査より1.0ポイント減少しています。その他の年齢層では、“50～59歳”が19.4%であり、前回調査より4.2ポイント増加しています。

【松戸の良さの伝達×年齢】

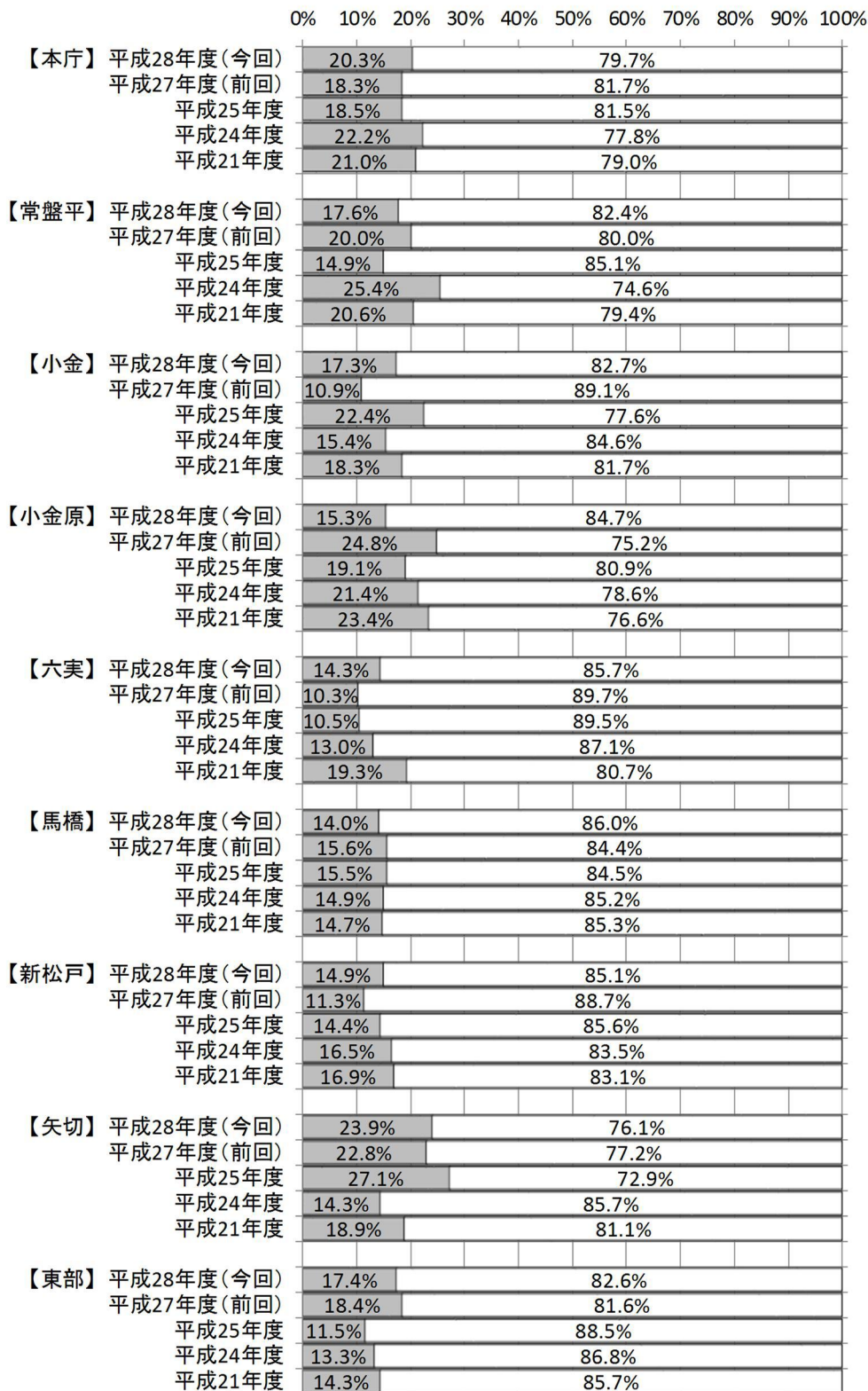


- “日常的にしている”と“ときどきしている”の合計比率
- “あまりしていない”と“全くしていない”の合計比率

地区別にみると、活動している人の割合は“矢切地区”が 23.9%と最多であり、前回調査から 1.1 ポイント増加しています。また、“本庁地区”も 20.3%であり、2.0 ポイント増加しています。これらの他、“小金地区”が前回調査より 6.4 ポイント増の 17.3%となっています。

一方、“小金原地区”では、活動している人の割合は 15.3%であり、前回調査より 9.5 ポイント減少しています。

【松戸の良さの伝達×地区】



■ “日常的にしている”と“ときどきしている”の合計比率
 □ “あまりしてない”と“全くしてない”の合計比率

第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

第3項 ゆとりを感じるまちに住むことができるようにします

めざしたい将来像:

文化的で自然豊かなゆとりのあるまちと感じられるように、産・学・官・民が連携してまちづくりをすすめることで、地域のコミュニティが生まれ、市民のふるさととしてふさわしいまちを実現します。

指標

安心やゆとりを感じている人の割合

(1) 指標の説明

住環境の拡大や自然環境の保全是、多くの人々にゆとり感を与えます。そこで、安心やゆとりを感じている人の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、「安心やゆとりの6項目の満足度」を組みあわせ聞いています。「地域・態度(評価)」

※「保健・医療・福祉サービス」「緑地・河川などの自然環境」「空気のきれいさ、騒音、悪臭などの公害の少なさ」「まち並み、建物などまち全体の景観」「事故や災害に強い安全なまち」「住環境のゆとりなどの住宅事情」の6項目

Q18 あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてどの程度満足しているかについて、次のア～チの各項目ごとに、あなたの考えに最も近い番号それぞれ1つに○をつけてください。

	項目	十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない
ア	保健・医療・福祉サービス	1	2	3	4	5	6
ケ	緑地・河川などの自然環境	1	2	3	4	5	6
コ	空気のきれいさ、騒音・悪臭などの公害の少なさ	1	2	3	4	5	6
サ	まち並み、建物などまち全体の景観	1	2	3	4	5	6
シ	事故や災害に強い安全なまち	1	2	3	4	5	6
チ	住環境のゆとりなどの住宅事情	1	2	3	4	5	6

<総合満足度の算出について>

安心やゆとりの6項目の総合満足度については、次のような方法にもとづき算出しています。

- ・Q20ア、ケ、コ、サ、シ、チの6つの質問のそれぞれについて、選択肢に応じた評価点を付与する。
- ・該当する質問の評価点を合計し、合計点に基づいて総合満足度を判定する。

評価点

- | | |
|-----------|-----|
| ①「十分満足」 | +2点 |
| ②「まあまあ満足」 | +1点 |
| ③「普通」 | ±0点 |
| ④「やや不満」 | -1点 |
| ⑤「きわめて不満」 | -2点 |

判定

- | | |
|---------|--------------|
| ①+5点以上 | (十分満足している) |
| ②+1～+4点 | (まあまあ満足している) |
| ③±0点 | (普通である) |
| ④-1～-4点 | (やや不満である) |
| ⑤-5点以下 | (きわめて不満である) |

該当する質問の評価点を合計する

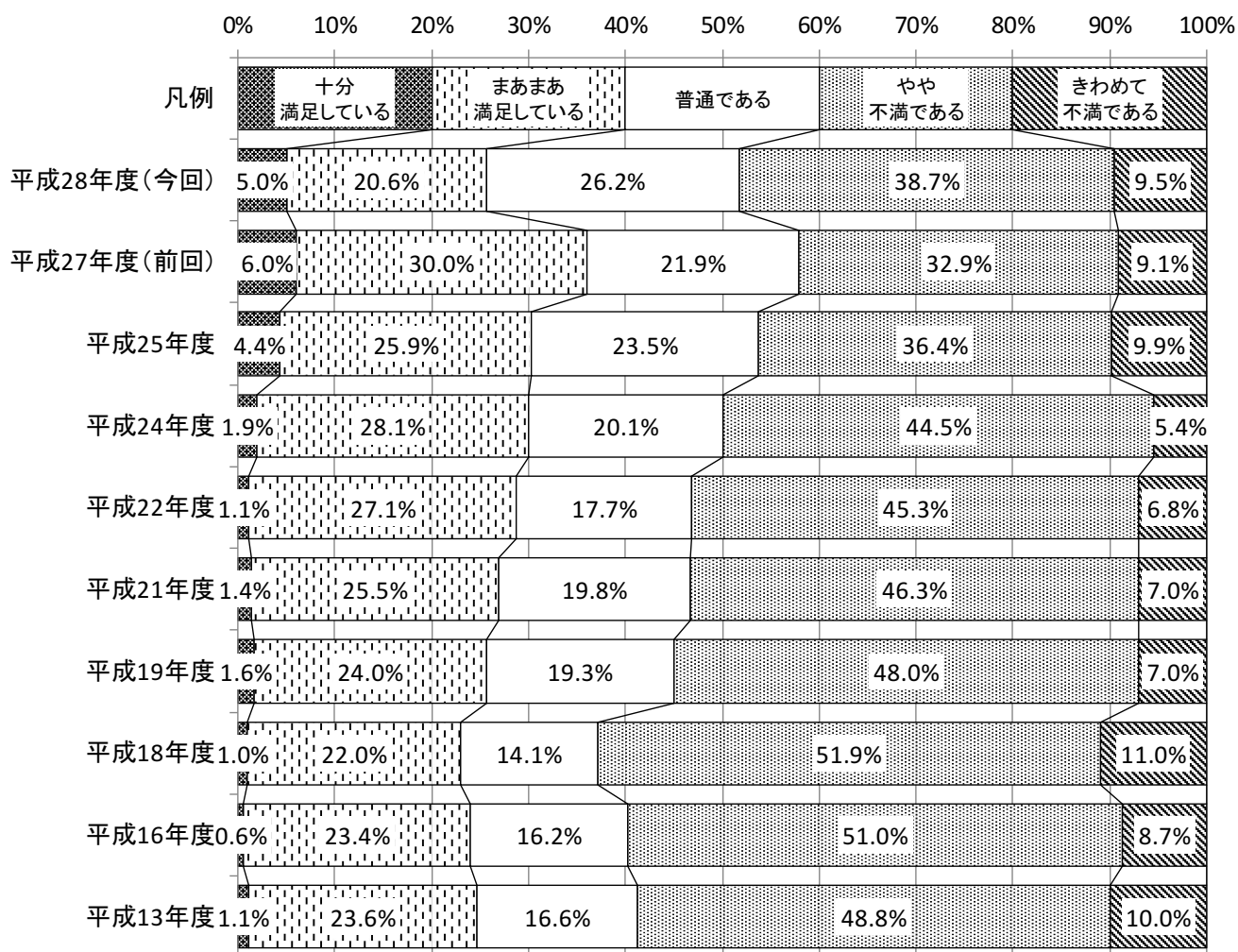
(3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度
十分満足している	1.1%	0.6%	1.0%	1.6%	1.4%	1.1%	1.9%	4.4%	6.0%	5.0%
まあまあ満足している	23.6%	23.4%	22.0%	24.0%	25.5%	27.1%	28.1%	25.9%	30.0%	20.6%
計	24.7%	24.0%	23.0%	25.6%	26.9%	28.2%	30.0%	30.2%	36.0%	25.6%

(4) 指標の分析

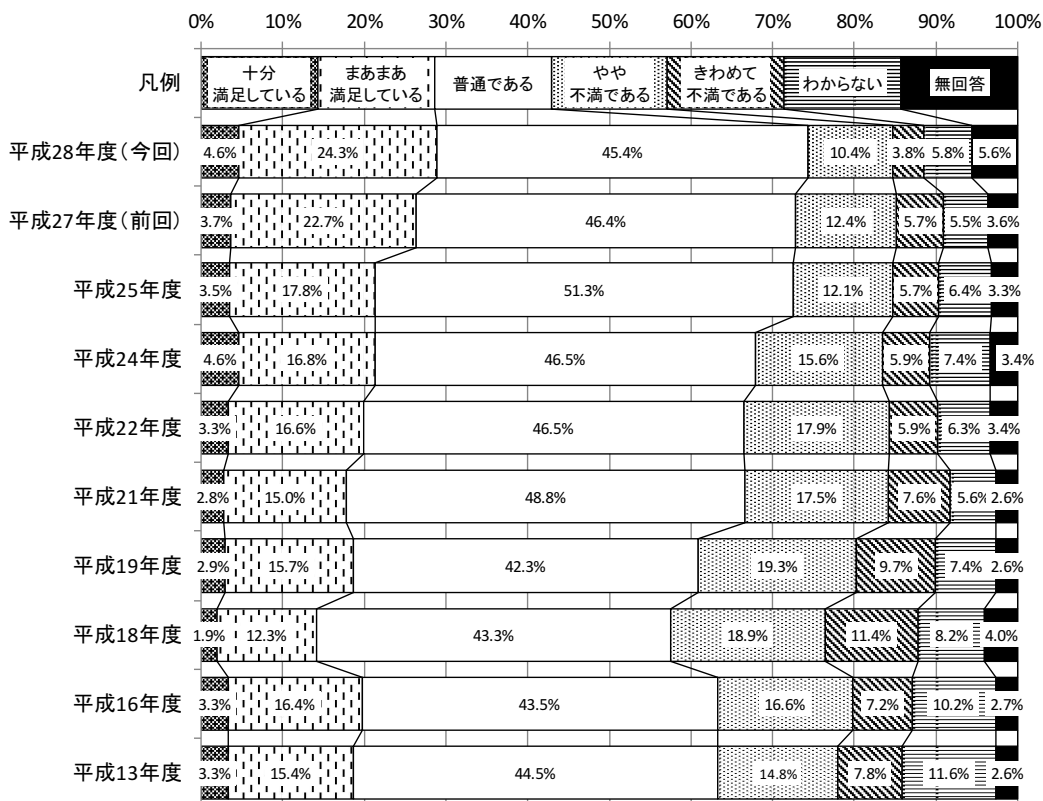
☆安心やゆとりに対する満足度は前回調査より10.4ポイント減少しています。

安心やゆとりの6項目の総合満足度についてみると、“十分満足している”(5.0%)、“まあまあ満足している”(20.6%)を合わせた、満足している層は25.6%であり、前回調査の36.0%から10.4ポイント減少しています。

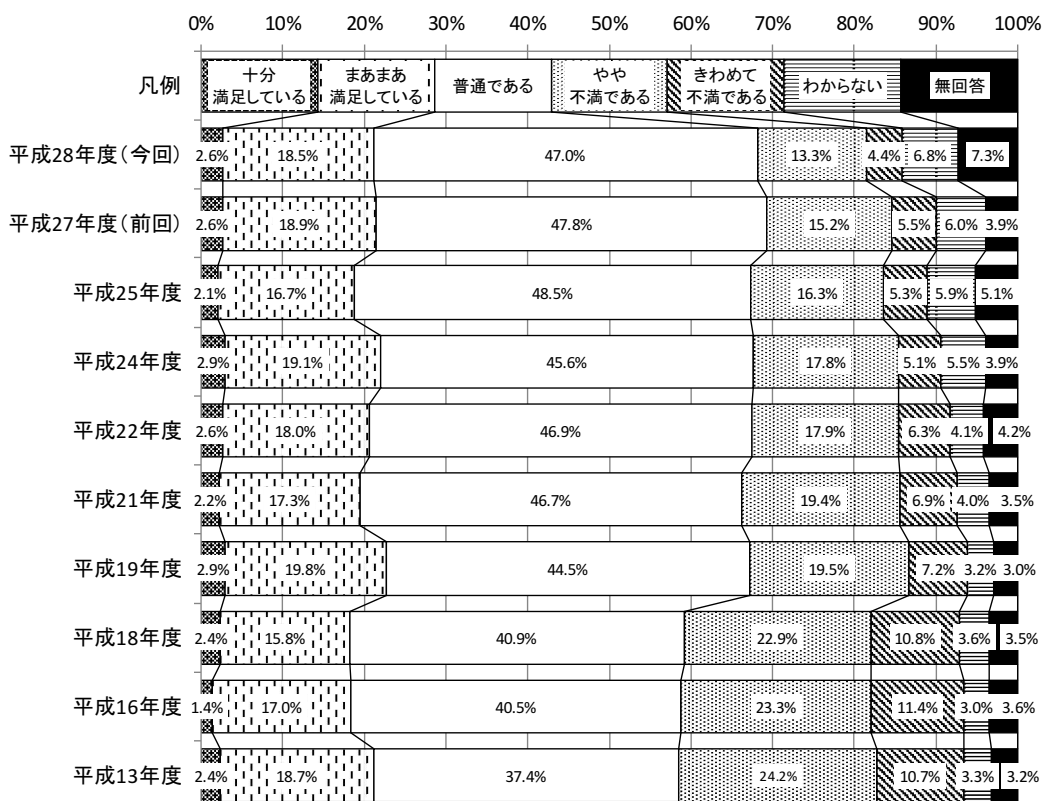


安心やゆとりに関わる6項目については、【保健・医療・福祉サービス】は前回調査より増加していますが、【緑地・河川などの自然環境】、【空気のきれいさ、騒音、悪臭などの公害の少なさ】、【まち並み、建物などまち全体の景観】、【事故や災害に強い安全なまち】および【住環境のゆとりなどの住宅事情】の5項目において満足している層が前回調査より減少しています。

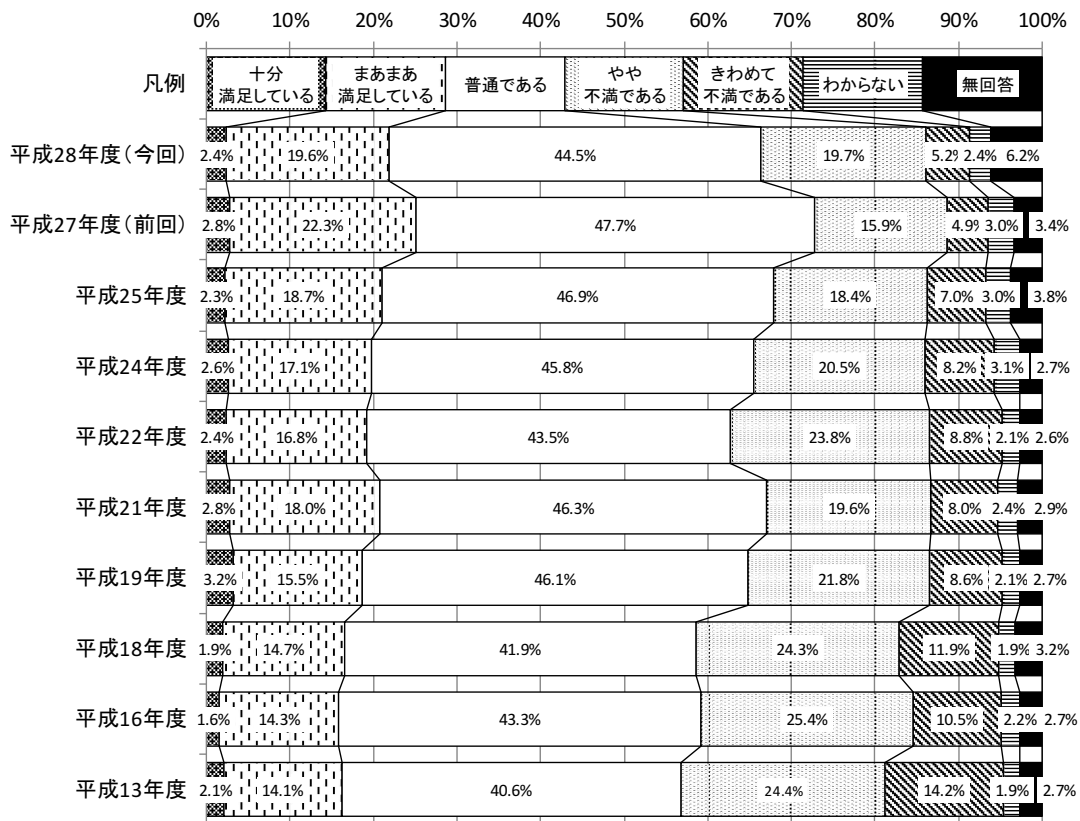
【保健・医療・福祉サービス】



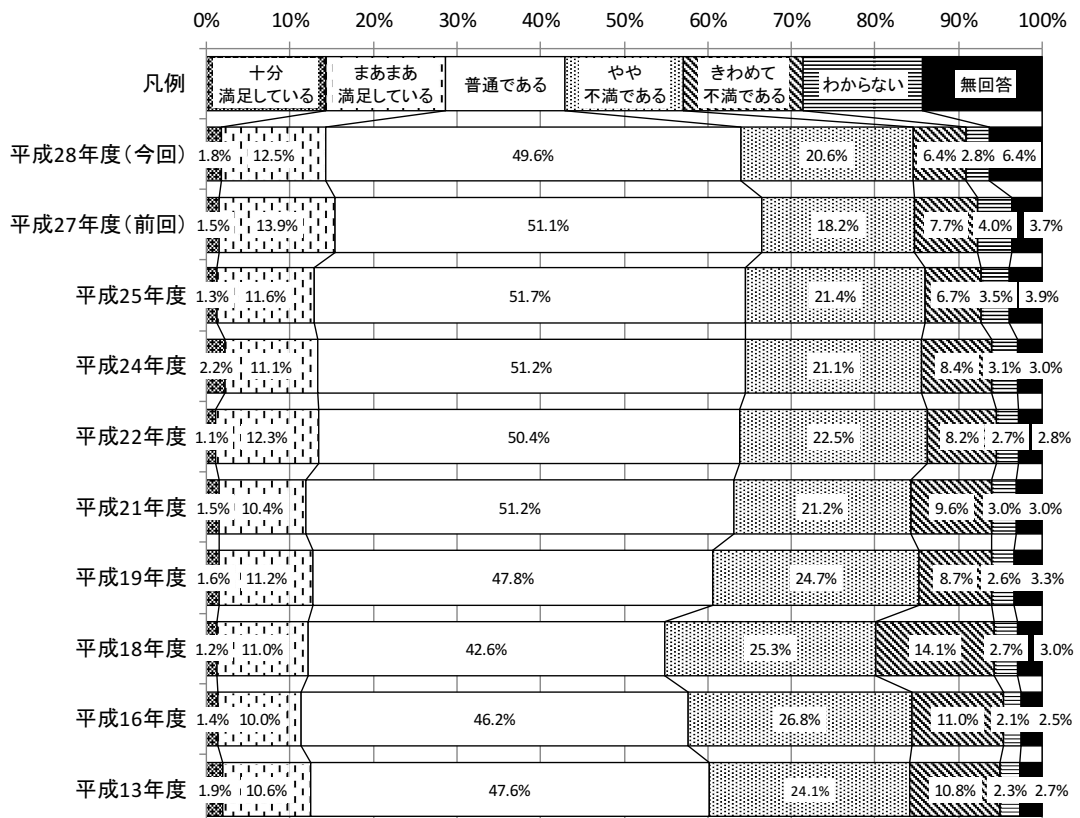
【緑地・河川などの自然環境】



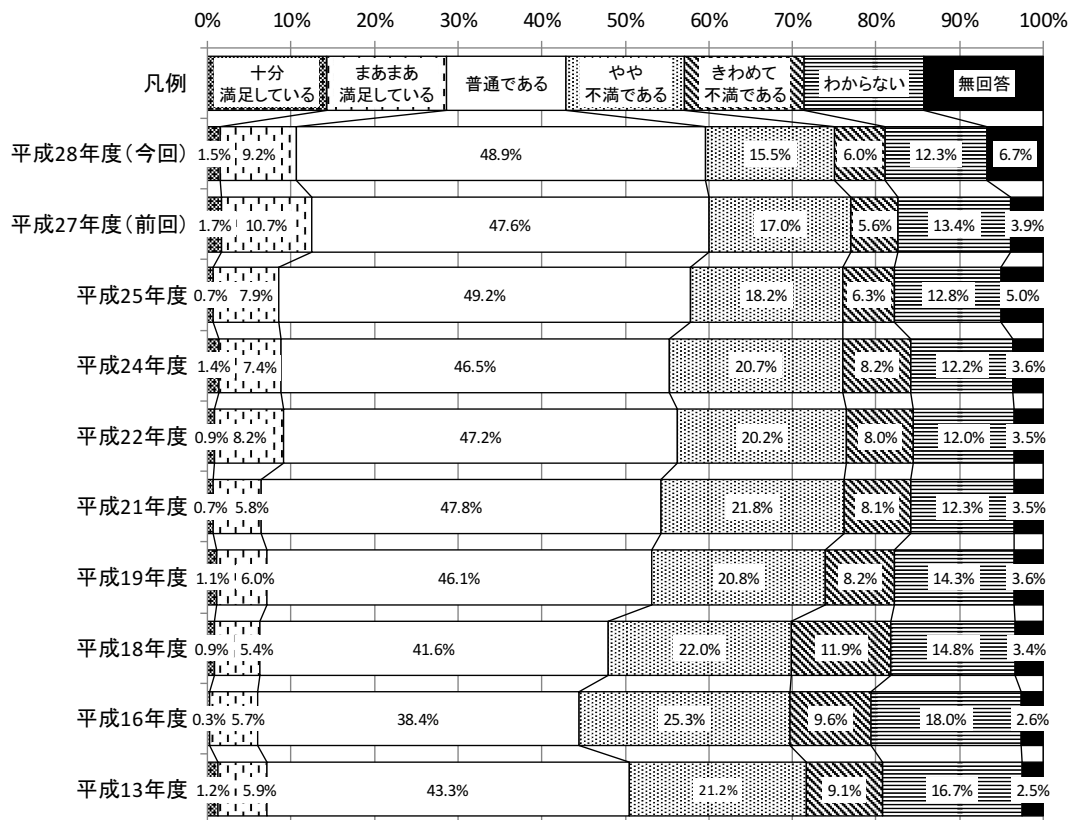
【空気のきれいさ、騒音、悪臭などの公害の少なさ】



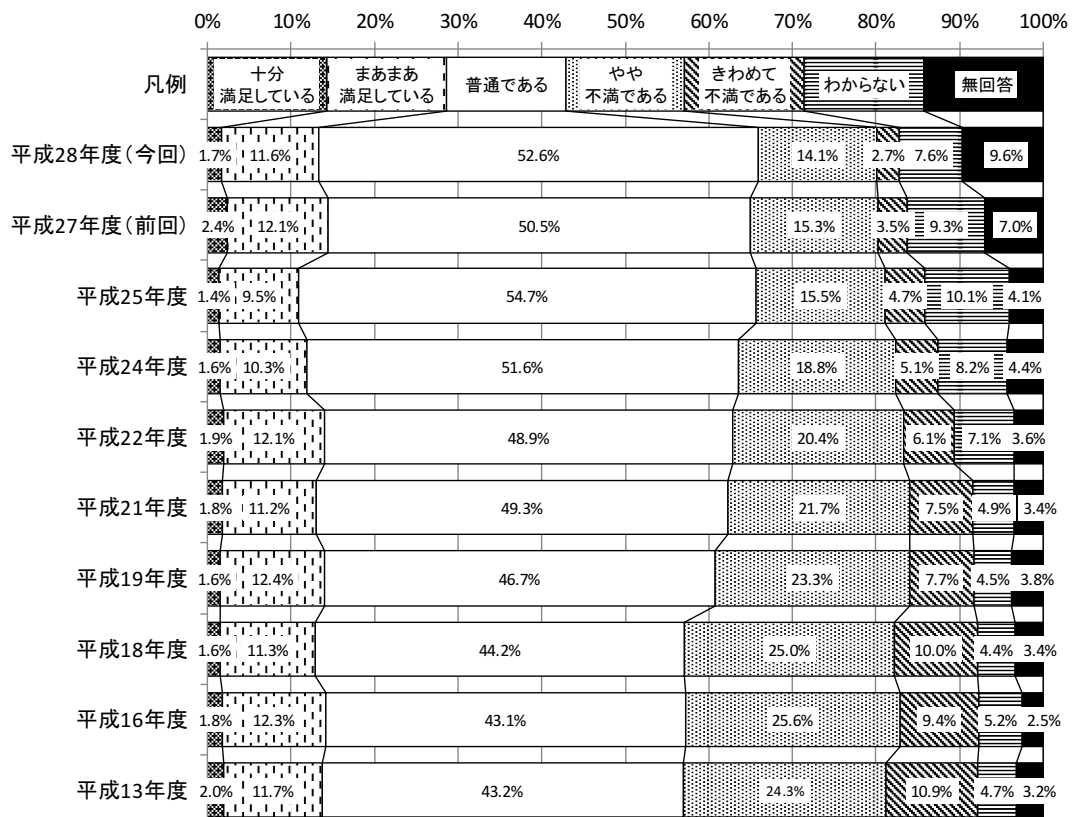
【まち並み、建物などまち全体の景観】



【事故や災害に強い安全なまち】



【住環境のゆとりなどの住宅事情】



第5節 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

第5項 安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにします

めざしたい将来像:

清流と豊かな自然環境の保持に向けて、浸水被害を少なくし、川に親しめるような整備をすることで、川辺が市民の憩いの場となることを実現します。

指標

緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合(再掲)

(1) 指標の説明

緑や水にふれあう機会が増すことによって、これらの自然環境に対する市民の満足度も高くなると考え、緑地、河川などの自然環境に満足している人の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「地域・態度(評価)」

※「緑地・河川などの自然環境」の項目

Q18-ケ あなたが松戸市で生活する中で、次のことについてどの程度満足しているかについて、次の各項目ごとに、あなたの考えに最も近いものをお答え下さい。(それぞれ1つに○)

項目	十分満足している	まあまあ満足している	普通である	やや不満である	きわめて不満である	わからない
ケ 緑地・河川などの自然環境	1	2	3	4	5	6

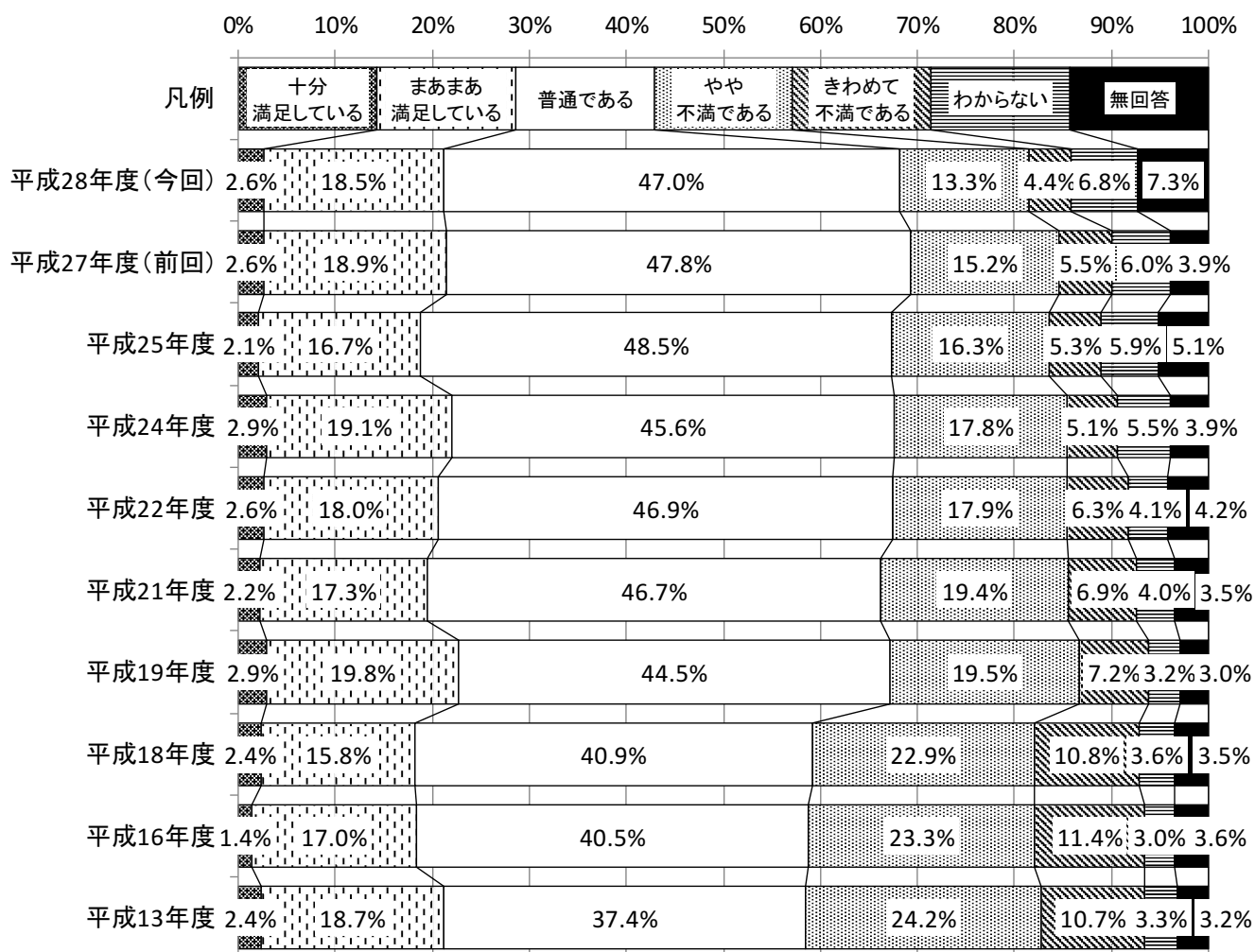
(3) 指標の現状

	平成13年度	平成16年度	平成18年度	平成19年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度	平成25年度	平成27年度	平成28年度
十分満足している	2.4%	1.4%	2.4%	2.9%	2.2%	2.6%	2.9%	2.1%	2.6%	2.6%
まあまあ満足している	18.7%	17.0%	15.8%	19.8%	17.3%	18.0%	19.1%	16.7%	18.9%	18.5%
計	21.1%	18.4%	18.2%	22.7%	19.4%	20.6%	22.0%	18.8%	21.5%	21.1%

(4) 指標の分析

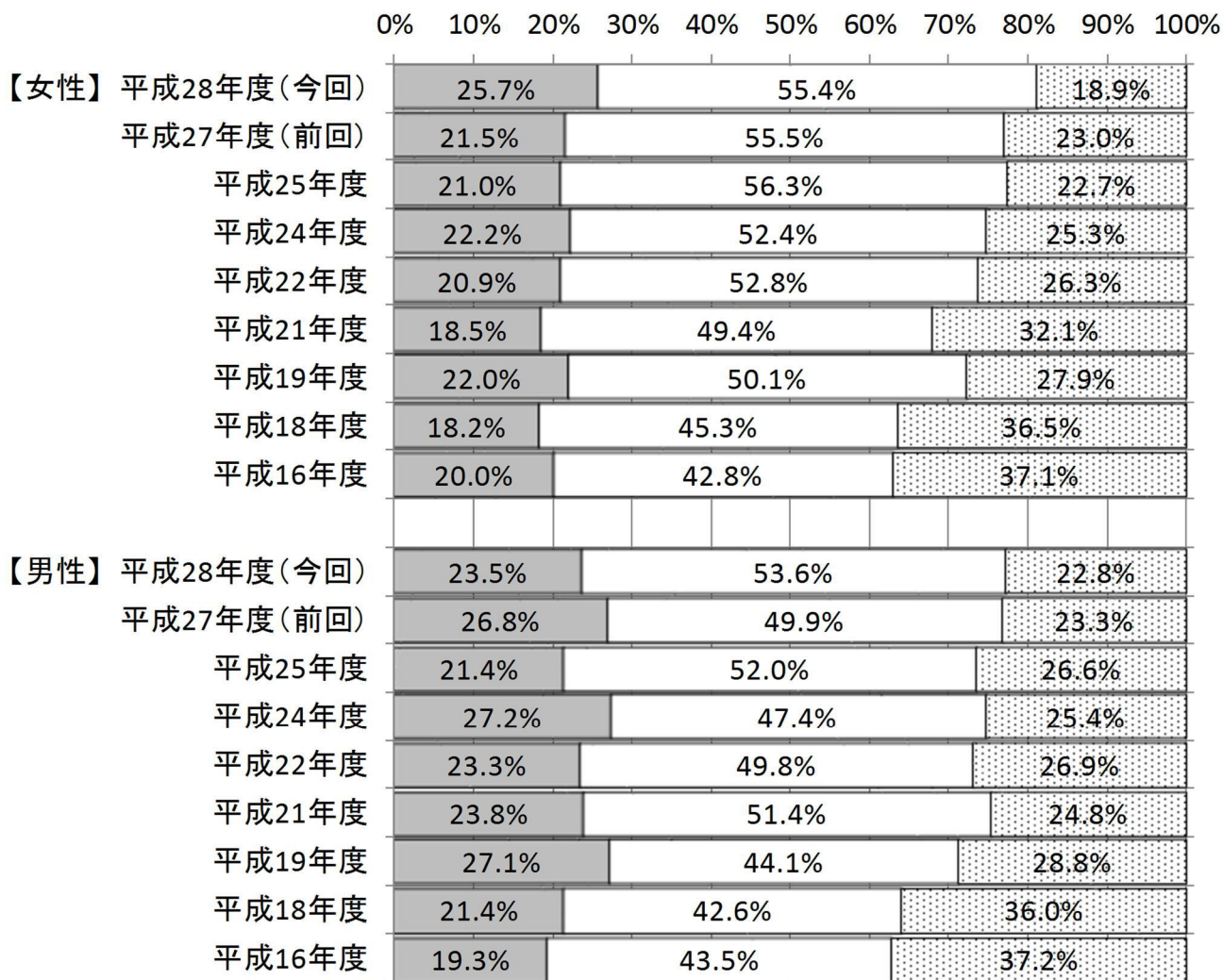
☆自然環境に対する満足度は21.1%と前回調査より、やや減少しています。

緑地・河川などの自然環境に対する満足度をみると、“十分満足している”(26%)、“まあまあ満足している”(18.5%)をあわせた満足という回答の割合は21.1%となっています。一方で“やや不満である”(13.3%)、“きわめて不満である”(4.4%)をあわせた不満は17.7%となっています。



性別で見ると、満足しているのは、“女性”は 25.7%となっています。“男性”は前回調査より 3.3 ポイント低下して 23.5%となっています。“女性”の方が“男性”よりも自然環境に対して満足している割合が高くなっています。

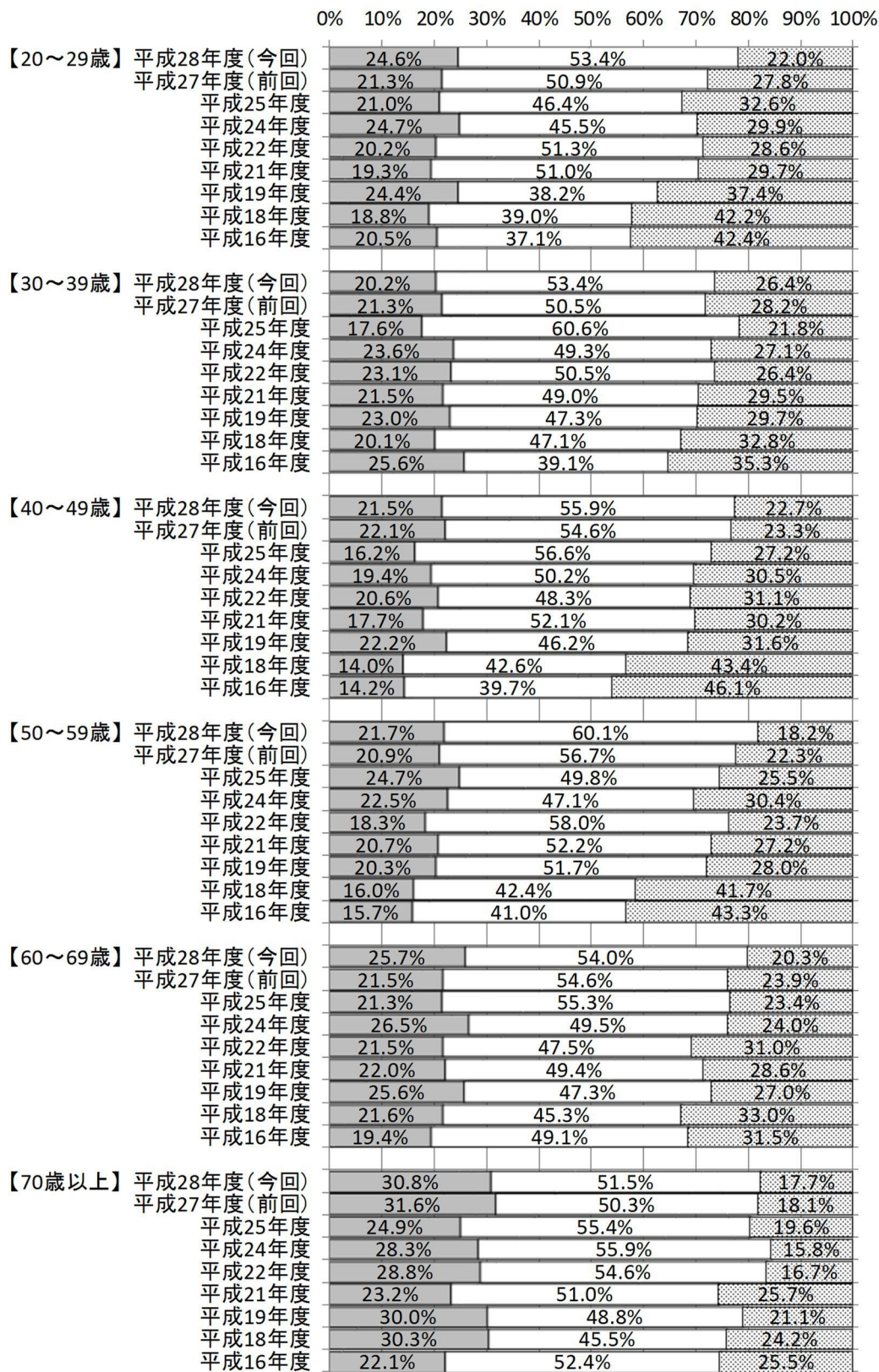
【自然環境×性別】



- “十分満足している”と“まあまあ満足している”の合計比率
- “普通である”の比率
- ▨ “やや不満である”と“きわめて不満である”の合計比率

年齢別にみると、“70歳以上”で自然環境に対して“満足している”人は30.8%であり、割合が最も高くなっています。全年代で自然環境に対して“満足している”人は20%を超えています。

【自然環境×年齢】



- “十分満足している”と“まあまあ満足している”の合計比率
- “普通である”の比率
- ▨ “やや不満である”と“きわめて不満である”の合計比率